

小平市議会 市民と議会の意見交換会(議会報告会)

※ 議会は合議体であり、内容によっては議決が必要なものもあり、要望や個別的課題についての回答は決定事項ではありません。

種類 [質問、意見・要望]

平成30年10月25・26・29・30日開催

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
○ テーマについて					
〈小平市の収入をふやすために ～あなたのアイデアを聞かせてください～〉 総務委員会班					
意見・要望	小平市の将来像を考えた上で、収入増を考えるべき。長期総合計画に収入増を明記するべき。プチ田舎を念頭にした意見だが、ITを市役所の業務、産業振興などに活用すべき。モデル地区、モデル業務・事業を設定し、具体的に進めてみてはどうか。 大学や、金融機関だけでなく、地元民間企業の方などを活用してほしい。創業支援・農業とITの交流の場を提供してほしい。すだちや、小川駅再開発を活用し、企業や小平市民が交流できる場を創設してほしい。		D	D	
意見・要望	政策提言の資料に英語表記の略語が多数使われているが意味が分かるように説明をつけて欲しい。		D	A	
質問	収入増を検討する動機は何か。	借金が減らない、入ってくるものが増えない、民生費の増などがある。持続可能な行政を作るため、入りを増やして、出を減らしていかなければならない。市民から頂くことに及び腰な面もあったが、市長とは別のアプローチで聖域なく考えていきたい。	D	D	
質問	小平市の収入の構成は。	冊子「分かりやすい予算」をご参照頂きたい。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
質問	小平市の各収入の動向をどのように考えているか。	将来像、住む人の流れ、住民の構成などいろいろな考え方があるが、出席議員がそれぞれの代表であり、意見の違う市民の代表であるので議会として議論し、合意を形成して、意見を行政に伝えていく。「プチ田舎」に関しては、市長のアイデアであり、議会の反応はいろいろであると捉えている。	D	D	
質問	市民総合体育館の駐車場有料化の考えがあると聞いた。議会としてどう考えるか。	駐車場有料化については議会に報告されていない内容である。受益者負担の適正化については議会として検討されている。市長は任期中に、利用者によって一定の負担を求めていく考えである。議会としてはどのような提案ができるか考えていく。	D	D	
質問	収入を増やすアイデアとして、効率性、公平性、公共信託、市民の利益の擁護等考えられるが、何をどう上げていきたいのか。	意見交換会で紹介した7つのテーマを軸に委員会で検討している。どうしていくかについてはこれからの段階であり、皆様のご意見も参考としていきたい。	D	D	
質問	収入を増やすためには、産業の育成、投資的経費が必要。先にお金を出さないと、収入が上がってこない。政策誘導をしてもらいたい。 産業育成のテーマがない。財政力指数が小平よりも低いが多く投資している市もある。収入を上げるには観光だ。玉川上水は知名度がある。全国区であり、観光客を獲得していくことができる。新宿から30分、外国人の居住率も福生に次いで、2位。現在はインバウンドのお客が2900万人来ている。川越には年間700万人の観光客が訪れる。1割でも降りてもらう仕組みを。 観光のアイデアを募集してはどうか。民間の電動自転車のレンタル活用はどうか。各観光地を回れるような環境整備が必要。観光は、地元で雇用を生む。外から人が来ると街は元気になる。市民を巻き込んだ形でのまちづくりを。	テーマの中にあるフィルムコミッションも同じような考えに基づいている。例えばロケ地が聖地化するケースもあるし、ロケ地巡りで観光客が増えるケースもある。街が元気になる仕組みは引き続き考えていきたい。2年前の環境建設委員会で自転車の似合うまちづくりについて提言している。過去に行った提言の活用もしていきたい。	D	D	
質問	クラウドファンディングについて、寄付の宛先は。	宛先は小平市になる。寄付金の扱い方については様々な可能性があると思う。市で使うこともあるがNPO支援なども考えられる。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
質問	自治体クラウドは早くやった方が良い。間違いなくやすくなり、セキュリティー面も強化される。	おっしゃるとおり、東村山、東久留米とは平成34年の更新時にそこからやることを提言している。各市でシステムがカスタマイズされているので、その部分をどう調整していくのかが課題。税務は全国一律のシステムでありクラウド化しやすいと考える。	A	A	
質問	29年度決算で、こども夢・未来基金はどうなったのか。	1年間で2500万円を支出し、4年で1億円を積み立てるとしたものの。当初は明確な用途が決まっていなかった。10月5日に、東京都が全小・中学生にチケットを配ることが発表され、今後の扱いへの指摘があったが、用途に関しては子どもの夢と未来のために使っていくとの答弁が決算特別委員会で示された。条例自体は現在も存在する。	D	D	
質問	決算・予算に関して、市民に情報提供する方法を議会として考えられないか。	予算の編成過程が、公表されているが、意見を求めるシステムはない。	D	D	
＜小平を食べよう ～小平の食と農をつなぐ～＞ 生活文教委員会班					
意見・要望	20年前 PTA として小平産野菜を使ってほしいと要望をした。ますます進めてほしい。市庁舎の食堂で「夏野菜のカレー」好評だった。「冬野菜の〇〇」などもどうか。エダマメもおいしい。商工会、JAと連携してPRしてはどうか。公民館の庭先で販売してはどうか。	参考とさせていただきます。	D	D	
意見・要望	「うつ病のまいにちごはん」のレシピを公民館で調理実習できないか？精神病の人は甘い物が好きなので糖質を摂りすぎてしまう。そういった人たちのために開催できると思う。地元産の野菜を使いたいと思うが、精神病の人の中には生活保護を受給している人も多くいるのでやはり高く買えない。	参考とさせていただきます。	D	D	
質問	都市農業振興基本法の「宅地化すべきもの」と「あるべきもの」の意味は。	基本法制定により、災害時の避難所等になるため、「あるべきもの」となった。根本的な都市農地の意味合いが変わり、都市農地については守っていく必要があるという共通認識が生まれた。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
質問	認定農業者の育成、数が減っていくことへの具体策は。	現状はなかなか増えていかない。若い人を入れたいが、農家も儲かる経営をしていかないと認定農業者は増えていかない。	D	B	生活文教委員会の政策提言による。
質問	販売所マップはどこに置いてあるか。	市役所には置いてある。シーズンに合わせたマップを作成している。武蔵美の学生がデザインした可愛いマップを作成したこともある。HPでも公開している。	D	D	
質問	子ども向けマルシェ 以外の取り組みは。	小学校19校 全てに学童農園があり、食育にも取り組んでいる。	D	D	
質問	地産地消アプリの他自治体の取り組みは。	四国で開発しているところはある。高齢者でも簡単に入力できるようにし、今日収穫した野菜など投稿できるようなものができればいいと考えている。	D	D	
質問	試食会の具体的企画は。	ワインなどとともに提供していくのもいいと思う。お酒を飲みながらざっばらんに楽しく参加できるようなものも考えていきたい。	D	B	生活文教委員会の政策提言による。
質問	ブルーベリーの摘み取り体験をしたいが市外への周知は？市外へ周知をしてはどうか。	JAでもブルーベリー摘み取り体験付きの金融商品を提供している。学校でも農家と連携し子どもたちに摘み取り体験をさせている。品種ごとに摘み取りのシーズンが異なるため体験できる場所もさまざまある。市外の人に発信していくのが課題。	D	D	
質問	飲食店での小平産野菜の利用状況は。小平野菜のアピールポイントは何か。	地産地消の野菜は近場で買えるので鮮度は抜群。しかし値段がネックと思っている飲食店もある。 農家は品質の良いものは高く売りたい気持ちと共に地元の人にも使ってもらいたい気持ちの両方がある。農家と飲食店を上手くマッチングできれば良いと思っている。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
質問	農福連携で残り物野菜を安く提供してもらえないか。	農福連携は人手の足りない農家と障害者の就労機会を作るというところで上手くマッチングできるようなシステムを作ればと思っている。また、作りすぎを活用するネットワークがあればいいと考える。	D	D	
質問	これまでの委員会視察をどう活かしていくのか。	奈良県桜井市では、三輪そうめんの普及促進の議員提案の条例について聞き、条例の作り方を学び、本市でも乾杯条例を検討したが、ブルーベリーワインの認知度が不明で、市民の声が高まっているかが課題となり、策定に至らなかった。	D	D	
質問	ブランディングについて、オリンピック選手に小平原産のキウイ、東京ゴールドを届けた。ブランド化できないか。	様々な意見を検討すべきと考える。質が良ければ売れる。評価される機運を作ることが必要と考える。	D	B	生活文教委員会の政策提言による。
< 団塊の世代が75歳を迎える2025年問題について考える ～理解を深める・楽しく取り組む・みんなで集う～> 厚生委員会班					
意見・要望	移動手段についてもっと使いやすく、小回りのきく移動手段を整備してほしい。		D	D	
意見・要望	小学校区一つに一つの居場所をとっているが一人でふらっと行ける場所を。		D	D	
意見・要望	銭湯巡回バスなどがあっても良いのではないか。そのバスの中が居場所になる。サロンになる。		D	D	
意見・要望	さりげない見守りの中でしっかり安否確認してもらいたい。		D	D	
意見・要望	災害時、要援護者へのケアが必要。		D	D	
意見・要望	小さいコミュニティで援助すべき。		D	D	
意見・要望	介護施設は今でさえ利用者が多いのに2025年になったらスタッフが足りなくなるのではないか。		D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
意見・要望	ろう者は小平に400人くらいいるが団体に入っているのは30人くらい。居場所づくりをして障害者と健常者がコミュニケーションを取れる場が必要。		D	D	
意見・要望	地域で支え合うことをスピードアップしてほしい。		D	D	
意見・要望	居場所のコーディネートする人が必要。		D	D	
意見・要望	障害者が相談できるような居場所が必要。		D	D	
意見・要望	200mごとに居場所づくりはいいことだと思うが有効性は。		D	D	
意見・要望	200mは可能か。どういった場所を想定しているのか。		D	D	
意見・要望	200mは近すぎて自分のことが言えない(オープンにできない)のではないか。		D	D	
意見・要望	サロンで医師(近所の先生・薬剤師等)に講座をしてもらおう。ちょっとした専門家の講義があれば出やすい。		D	D	
意見・要望	男性が孤立しやすい。対応は始まっているが、地域ごとにそういった場所が必要。		D	D	
意見・要望	資料の中に多くの市民を巻き込んでとあるが上から目線に感じる。一緒にやっていくという姿勢を見せて、変えてほしい。		D	D	
意見・要望	公民館で講座をやっているが参加者よりスタッフの方が多いことがある。		D	D	
意見・要望	人口減るから公共施設縮小するというのは本当にそうなのか。居場所にしようというのに、公共施設減らして大丈夫か。居場所増やすことと公共施設マネジメントは矛盾あるのでは。		D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
意見・要望	高齢者担い手育成プログラム。100%ボランティアではいけない。		D	D	
意見・要望	若い人を増やすためにはどうしたら良いのか考えてほしい。		D	D	
意見・要望	介護職が今でも足りないのに2025年はもっと不足する。心配。災害時の安否確認が心配。		D	D	
＜公園の利活用について ～みんなでつくろう夢公園 パート2～＞ 環境建設委員会班					
意見・要望	公園は安心安全であること、いこいの場でありコミュニケーションの場。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	子どもの意見を聴いてほしい。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	グリーンロードの水路を使った公園が欲しい。(親水公園的な)		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	公園に土管を置いてはどうか。		C	D	
意見・要望	市民と行政がいっしょになって公園つくってほしい。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	トイレがきれいだと人が集まる。たけのこ公園のトイレはいつもきれいになっていて、利用も多い。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	公園の管理は草がのび放題だったり、まちまちなので管理基準を作ってほしい。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	小平という狭いところで311か所の公園は多いのではないか。	開発されたところの住宅地の奥に公園があったりする。	C	D	
意見・要望	雑木林、保存樹林を残してほしい、プレーパークもほしい。		C	D	

A:実施済み又は実施予定です B:市に申し送りました C:検討中です D:参考意見とさせていただきます E:その他

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
意見・要望	公園の管理は、草が伸び放題だったりし、まちまちなので管理基準を作してほしい。 ビオトープ公園の管理はどうか、荒れているようなのでしっかりやってほしい。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
意見・要望	神奈川では、手話のイラストが張って電柱がある通りがある。小平にも公園にこんな手話があるよというのが張ってあると良いと思った。		C	D	
意見・要望	鎌倉公園について、農業公園とかプレーパークとかサイクリングロードとか、市民参加でつくるべきである。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
質問	小さい公園をどう利用するか。		C	D	
質問	健康遊具のある公園を使ったことない、小金井公園にある、広めて使い方なども情報がほしい。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
質問	アダプト制度を初めて知った、もっと分かり易いように名称変えてはどうか。例えば「公園の里親制度」とか。		C	B	環境建設委員会の政策提言による。
質問	グリーンロード沿いの公園の管理は東京都、グリーンロード沿いのことは都に意見すべき。車止めについて問題ある、自転車にとってはよくなったが車椅子が通れない。車止め対応の車椅子については、当事者に聴いてみたらいかがか。		D	D	
質問	新しく公園設置後の管理はどうなっているのか、市なのか。	提供公園として市の公園として受け付けるまでの間は開発業者側の管理になる。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
○ その他(市政全般について)					
〈小川西町中宿地域センター〉					
意見・要望	昭和28年に米軍機が新東京自動車学校の敷地内に墜落し、129名がなくなる事故があった。昔は慰霊碑があったが、現在再開発が進んでいるエリアであるから公園等の敷地内に慰霊碑を建てて欲しい。		B	B	
意見・要望	建設予定の花小金井南中学校地域開放型体育館のアリーナは2階にあって暑いのではないかと思います。地下15メートル掘ると、温度は一定になる。自然エネルギーを活用した冷暖房は考えられないか。	参考とさせていただきます。	D	D	
意見・要望	自分が死んだら財産は小平市に寄付をすると遺書を書いている。児童虐待の被害者で精神障がいもあり、現在は障害者手当で生活している。これまでの経験を本にし、稼げる立場になりたいと思っている。社会保障で生活している立場の人が、様々な形で稼ぎ、納税者側に回れるようになってほしいと思う。		D	D	
意見・要望	高齢者の介護に関わってきた。認知症リーダーの研修で講師として話した。用があって市役所に連絡すると、たらい回しに合う。質問履歴や電話番号で個人を特定するようなシステムがあれば、たらい回しにされることもない。空いた職員は地域に出て現場を見て、政策立案すれば市民のニーズに対応することができる。窓口のワンストップにもつながると考える。	窓口の業務改善については、前期の委員会で提言している。現在ワンストップ窓口を検討しており、少しずつ改善されている。システムや導線については今後の課題だが、まずは今行っている窓口の一元化にしっかり取り組みたい。	D	A	
質問	ホームページが新しくなり使いづらくなった気がするがどうか。公共施設の予約も不便になった気がする。	以前のホームページを知っていると新しいものが使いづらく感じるケースがある。公共施設予約はトップページから入れるようになっている。予約システム自体の改善は現在検討されていると聞いている。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
質問	昭和病院の醜聞について聞きたい。運営形態が、わかりづらい。市はどんな立場で答弁するのか。市は、司法と、現場の職員の情報把握についてはどのように行っているのか。	数年前に組合から企業団になった。特別地方公共団体ではある。現在は企業団のトップは医師が務めている。しかし、公正の担保は変わらない。今回の事件については現在議会にも情報は届いていない。議会で質問しても、昭和病院から聞いたものとして、それ以上は答えられないと思う。各市から議員も派遣されているので今後議論されていくと思う。	D	D	
質問	請願・陳情の扱いの差について、一人でも出せる陳情は、大切な市民の権利だと思う。一年間で、何件の請願・陳情が出ているのか。	29年中の請願は3件、陳情2件である。	D	D	
意見・要望	議会を見て、理事者とのやり取りはあるが、議員間のやり取りがあっても良いのではと思うがどうか。	議員が質問して、理事者が答えるのがこれまでの一般的な形態。小平市は委員会中心主義なので、付託された議案については少人数でそれぞれの立場からの質問を活発に行なっているのがひとつ。 また議会改革の流れで、議会基本条例に議員間の自由討議を位置付けたことで、議員同士の議論を丁々発止で行うことができるようになり、すでに3回程行っている。出来るだけ開かれた議論を目指していきたい。 この議会報告会もその流れの一つであり、意見の違う議員が市民の皆さんの意見を聞きながら合意を形成している。	D	D	
質問	公共施設マネジメントが市民に浸透していない。情報が届いていない。福祉会館、中央公民館が主体となって利用者への説明が必要ではないか。	公民館利用者懇談会で情報を伝えている。またデザインカフェが行われる。土日に開催されるので子育て世代も含め是非参加をしていただきたい。	D	D	
〈鈴木地域センター〉					
意見・要望	私は公民館利用団体に騙され、結果精神障害者になった。 公民館利用団体の一つに7ヶ国語を話せるようにとか、海外に1ヶ月留学するとかの話に私の母がのりまして、私が通わされ、留学にも放り込まれました。1ヶ月の留学の後半には体調を崩し帰国してから不登校になった。こんな団体が公民館の利用団体になっているのは許せない。	参考とさせていただきます。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
意見・要望	<p>公共施設マネージメントについて 市民の意見をもっと聞いて欲しい。周りの人に聞いても中央公民館や健康福祉事務センターのこと、小川駅西口再開発のことを知らない人がいる。必要な人に情報が届いていないのではないかと心配。公マネ主体での意見交換以外にも例えば中央公民館の利用者だけで意見交換会をするなど丁寧な市民意見聴取をして欲しい。</p> <p>市でも市民に向けた意見交換会や説明会など開催してくれているが、参加者は固定気味で大抵決まった顔ぶれになっている。もっと広く市民に周知し特に若い人の意見など聞く機会を作って欲しい。</p>	<p>公民館利用者懇談会で情報を伝えている。またデザインカフェが行われる。土日に開催されるので子育て世代も含め是非参加をしていただきたい。</p>	D	D	
〈学園東町地域センター〉					
意見・要望	ヘルプカードについて。もっと普及させてほしい。でも、そもそも在庫切れ。	普及させていきたい。在庫切れは早急に解消すべきと考える。	D	D	
意見・要望	小平当事者研究会を立ち上げようと考えている。当事者研究会とは障害を持つ人が自分の障害について研究する会。国立精神医療センターがある小平市でも、浦河町のように「精神でまちづくり」をしてほしい。	地域で病気に寄り添って生きていくという考えはよいと思う。	D	D	
意見・要望	花小金井武道館をなくさないでほしい。	意見として賜ります。	D	D	
意見・要望	アルツハイマーと糖尿病には相関関係がある。筋トレすることで予防になり、医療費削減につながるとおもう。		D	D	
質問	公共施設の有料化はどうなるのか。	受益者負担について議員の中でも意見が分かれる。もう5年ほど検討中である。そろそろ見解をまとめるべき時期に来ている。	D	D	
質問	そろそろ、公共施設の有料化についての見解をまとめるべき時期とのことだが、まとめるべき時期とは？いつ答えを出すのか？	5年議論しているがまとまっていない。それではいけないということ。	D	D	
質問	政務活動費について、半額返還されているが、なぜか。	会派ごとに支給されている。全額使う会派、使わないという考えの会派いろいろある。	D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
〈小川町二丁目地域センター〉					
意見・要望	都営住宅に住みたいがなかなか入れない、市議会できりあげてほしい。		D	D	
意見・要望	市報に掲載される市職員採用の障害者枠は、口述でない応募できない。その条件は障がい者差別解消法の理念にのっとり外してほしい。		D	D	
意見・要望	市役所の総合案内窓口(現在は健康福祉事務センターに配置)では、第1・3火曜に手話通訳の配置があるが、本当は毎日にしてほしい。でなければ毎週火曜とか、使い勝手を良くしてほしい。		D	D	
意見・要望	道路についてのアンケートに答えたことがある。里道があって広い道が切れている、挟むような道路は防災上心配である。		D	D	
意見・要望	市の西と東では道路事情は異なる。西側の道路は狭い。たかの街道など危険がずっと続いている。玉川上水通りも道幅が狭い。元中宿通りも4mないところもある、など現状を知ってほしい。		D	D	
意見・要望	民間のシェアサイクルをもっと広めたらどうか、市営駐輪場の指定管理者などの取り組みも考えてほしい。		D	D	
意見・要望	今回の意見交換会はテーマごとで4回のうち3回参加した。参加しやすかった。チラシをもっと早めに置いて、議員も裁量で配ってもっと広めるべき。本当に興味のある人に届いてないのではないか。		D	D	

種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
			取扱い (12/11時点)	取扱い (3/26時点)	
質問	「自転車の似合うまちづくり」提言はその後どうなったのか。	その後の検証は議会としてもしなければならないが、まだこれから。	D	D	
質問	自転車ナビマークはいいけれどいざ走ると怖い、特に新青梅街道などは自転車では走れない。 自転車の似合うまちということではどうしたらいいのか。	安全に乗れるというのが似合うまちとなる。原則車道、歩道も可・不可がある、危険な時は歩道でよい。車、自転車、歩行者の譲り合いを。ナビマーク設置は環境建設委員会から提言をした、今できることをやっている。	D	D	
質問	市民自治意識UPへ、投票率UPへ何かするのか。	今回の請願採択を受けて、選挙管理委員会は検討を進めている。	D	D	